

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：36006
学校名：札幌市立常盤中学校

改訂のポイント

○自ら考え、判断し、進んで自分の意見を表現できる生徒の育成

項目名 項目内容

項目内容の具体

目標

「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像

☆自らすすんで学び方を身に付け、自信をもって発信する子ども（石山東小 常盤小 常盤中 3校共通）

「学ぶ力」に関する成果や課題

学ぶ意欲

【昨年度の具体的な取組】

○WAT（標準学力検査）等の実施
○一人一人との教育相談活動の充実

【成果】

⇒「①授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている」の肯定的回答が81%だった。

【課題】

◇⑤どのように勉強するのがよいかなど学び方を身に付けることに課題がある。

思考力・判断力・表現力等

【昨年度の具体的な取組】

○調べ学習や発表機会の充実
○校内研修会での研修活動

【成果】

⇒「⑮習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う」の肯定的回答が94%であった。

【課題】

◇⑫自分の意見を進んで発表することに課題がある。

基礎的・基本的な知識及び技能

【昨年度の具体的な取組】

○北海道チャレンジテストの実施
○国語科・社会科・数学科・保健体育科・英語科でのTTの有効活用

【成果】

⇒「⑥勉強で同じ間違いをくり返さないように気をつけている」の肯定的回答が92%だった。

【課題】

◇⑧目標を明確にした学習計画を立て学習に取り組む姿勢に課題がある。

今年度の具体的な改善策（取組）

取組の最重点

【取組の共有】

課題を自ら設定し、解決に向けた追求の方法を考え、解決に向けた考えを表現できる生徒

具体的な改善策（取組）

○教育相談等を通して、学校生活の悩みだけでなく学習に関することについて全職員が相談相手となって、その生徒にふさわしい課題の設定の仕方や学び方について指導をする。
○自己目標・自己課題を明確にもって課題に取り組めるような、学習計画づくりの充実を図る。
○自信をもって表現できるように各教科、総合的な学習の時間において小グループでの討議や発表会を取り入れた授業づくりを推進する。
○生徒が、分かる・できる喜びを実感できるように数学科などでのTTを実践し、個に応じた指導の充実を図る。

検証の方法

各種調査や子どもの自己評価指標の活用

○各教科の評価規準に基づく学習状況評価等の活用。（日常のテストやレポート、ノート、観察等）
○全国学力・学習状況調査の活用 ○札幌市全体の共通指標の活用
○QU検査 ○学校評価アンケートの活用